



長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部

長崎県諫早市立石町1003番地

規格外みかんが生み出す新たな地域興しと廃棄物の再利用



Action

活動内容を400文字以内で記載してください。

長崎県は温州みかんの生産量53,500トンで全国第5位を誇る。しかし、農家の悩みとしてブランド力が低い、規格外品が多い(約20%)などがあげられる。そこで、新しい長崎ブランド品の開発を目的とした。また、加工の際に生じる廃棄物の再利用を行った。

本活動は地元の伝統菓子諫早おこし、長崎みかんのPRを行うため、両者をコラボさせ「みかんおこし」の開発を行い、令和元年5月に商品化を達成した。そして、令和2年2月、長崎県特産品新作展において「長崎手みやげ大賞」を受賞し、全国へPRされている。

また、加工の際に生じる果皮などは、廃棄物として処分され、焼却する際に生じる二酸化炭素は環境に悪影響を与えている。検証の結果、廃棄物を用いた子実体の菌床栽培に利用できることを突き止め、令和2年3月、発明の名称「子実体栽培方法」で特許を取得した。

この技術は地元の栽培農家で実証実験に成功し、今後廃棄物削減が期待される。